

インデックスファンドBDC（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第29期（決算日 2016年6月20日）第31期（決算日 2016年8月22日）第33期（決算日 2016年10月20日）
第30期（決算日 2016年7月20日）第32期（決算日 2016年9月20日）第34期（決算日 2016年11月21日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「インデックスファンドBDC（毎月分配型）」は、2016年11月21日に第34期の決算を行ないましたので、第29期から第34期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産／インデックス型	
信託期間	2014年2月18日から2028年11月20日までです。	
運用方針	主として、「インデックス マザーファンド BDC」受益証券に投資を行ない、BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	インデックスファンドBDC(毎月分配型)	「インデックス マザーファンド BDC」受益証券を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド BDC	BDCやBDCに関連する証券を主要投資対象とします。
組入制限	インデックスファンドBDC(毎月分配型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	インデックス マザーファンド BDC	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期および第2計算期は収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<642290>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P BDC 指数 (円換算ベース)		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金	期 騰 落	中 率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
5期(2014年6月20日)	9,378	50	4.4	97.34	4.7	11.2	78.5	107	
6期(2014年7月22日)	9,470	50	1.5	99.10	1.8	6.5	85.8	125	
7期(2014年8月20日)	9,547	50	1.3	100.65	1.6	6.2	85.9	128	
8期(2014年9月22日)	9,844	50	3.6	104.66	4.0	5.8	86.9	138	
9期(2014年10月20日)	9,185	50	△ 6.2	98.28	△ 6.1	6.9	86.1	130	
10期(2014年11月20日)	10,363	50	13.4	111.90	13.9	3.3	90.5	141	
11期(2014年12月22日)	9,987	50	△ 3.1	108.70	△ 2.9	3.1	91.9	133	
12期(2015年1月20日)	9,522	50	△ 4.2	104.21	△ 4.1	3.0	93.0	131	
13期(2015年2月20日)	10,034	50	5.9	110.57	6.1	2.8	93.3	139	
14期(2015年3月20日)	10,116	50	1.3	112.30	1.6	3.3	91.6	141	
15期(2015年4月20日)	10,083	50	0.2	112.76	0.4	3.5	91.8	148	
16期(2015年5月20日)	10,127	50	0.9	113.96	1.1	3.8	91.2	150	
17期(2015年6月22日)	10,087	50	0.1	114.34	0.3	2.9	92.8	149	
18期(2015年7月21日)	9,976	50	△ 0.6	113.88	△ 0.4	4.0	91.0	150	
19期(2015年8月20日)	9,698	50	△ 2.3	111.42	△ 2.2	4.0	92.2	144	
20期(2015年9月24日)	9,058	50	△ 6.1	104.78	△ 6.0	5.6	86.6	142	
21期(2015年10月20日)	8,912	50	△ 1.1	104.09	△ 0.7	6.4	86.7	140	
22期(2015年11月20日)	9,400	50	6.0	110.62	6.3	6.3	87.0	148	
23期(2015年12月21日)	8,704	50	△ 6.9	103.15	△ 6.8	5.4	86.0	138	
24期(2016年1月20日)	7,708	50	△10.9	92.00	△10.8	4.7	96.1	123	
25期(2016年2月22日)	7,378	50	△ 3.6	88.76	△ 3.5	5.6	87.1	130	
26期(2016年3月22日)	8,204	50	11.9	99.68	12.3	7.2	84.6	148	
27期(2016年4月20日)	8,189	50	0.4	100.40	0.7	8.0	83.2	149	
28期(2016年5月20日)	7,944	50	△ 2.4	98.13	△ 2.3	7.7	83.0	145	
29期(2016年6月20日)	7,718	50	△ 2.2	96.18	△ 2.0	7.9	82.3	142	
30期(2016年7月20日)	8,209	50	7.0	103.31	7.4	8.0	83.2	152	
31期(2016年8月22日)	8,037	50	△ 1.5	101.90	△ 1.4	4.7	89.7	142	
32期(2016年9月20日)	8,035	50	0.6	102.73	0.8	5.2	87.9	143	
33期(2016年10月20日)	8,124	50	1.7	104.79	2.0	4.8	89.4	144	
34期(2016年11月21日)	8,810	50	9.1	114.65	9.4	4.9	89.8	156	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「S&P BDC 指数」は、米国のBDC市場の動きを表す指数です。ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するBDCを対象に、浮動株調整後の時価総額加重を基本として算出されます。同指数の(円換算ベース)とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2016年11月21日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		S & P BDC 指数 (円換算ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	証 券 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率				
第29期	(期首) 2016年5月20日	円 7,944	% -	98.13	% -	% 7.7	% 7.7	% 83.0	% 83.0
	5月末	8,186	3.0	101.16	3.1	7.9	7.9	82.7	82.7
	(期末) 2016年6月20日	7,768	△2.2	96.18	△2.0	7.9	7.9	82.3	82.3
第30期	(期首) 2016年6月20日	7,718	-	96.18	-	7.9	7.9	82.3	82.3
	6月末	7,721	0.0	96.30	0.1	8.1	8.1	82.7	82.7
	(期末) 2016年7月20日	8,259	7.0	103.31	7.4	8.0	8.0	83.2	83.2
第31期	(期首) 2016年7月20日	8,209	-	103.31	-	8.0	8.0	83.2	83.2
	7月末	8,166	△0.5	102.81	△0.5	6.8	6.8	85.8	85.8
	(期末) 2016年8月22日	8,087	△1.5	101.90	△1.4	4.7	4.7	89.7	89.7
第32期	(期首) 2016年8月22日	8,037	-	101.90	-	4.7	4.7	89.7	89.7
	8月末	8,425	4.8	106.93	4.9	5.3	5.3	88.7	88.7
	(期末) 2016年9月20日	8,085	0.6	102.73	0.8	5.2	5.2	87.9	87.9
第33期	(期首) 2016年9月20日	8,035	-	102.73	-	5.2	5.2	87.9	87.9
	9月末	8,028	△0.1	102.74	0.0	4.8	4.8	89.0	89.0
	(期末) 2016年10月20日	8,174	1.7	104.79	2.0	4.8	4.8	89.4	89.4
第34期	(期首) 2016年10月20日	8,124	-	104.79	-	4.8	4.8	89.4	89.4
	10月末	8,236	1.4	106.32	1.5	4.8	4.8	89.3	89.3
	(期末) 2016年11月21日	8,860	9.1	114.65	9.4	4.9	4.9	89.8	89.8

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

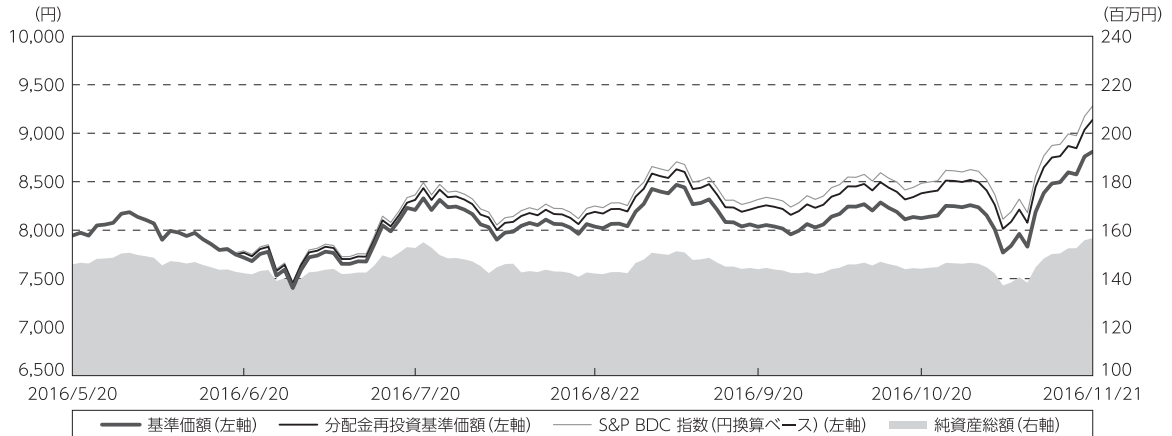
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2016年5月21日～2016年11月21日)

作成期間中の基準価額等の推移



第29期首：7,944円

第34期末：8,810円（既払分配金（税込み）：300円）

騰落率：15.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびS&P BDC 指数（円換算ベース）は、作成期首（2016年5月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) S&P BDC 指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）やBDCに関連する証券に実質的に投資を行ない、BDC市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・市場予想を上回る内容の米国経済指標の発表などを受けて米国経済に対する楽観的な見方が強まったこと。
- ・発表されたBDCの決算が概ね堅調な内容であったこと。

<値下がり要因>

- ・英国の欧州連合（EU）離脱懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・米国長期金利の上昇を受けてBDCの相対的な高利回りに対する魅力が弱まったこと。

投資環境

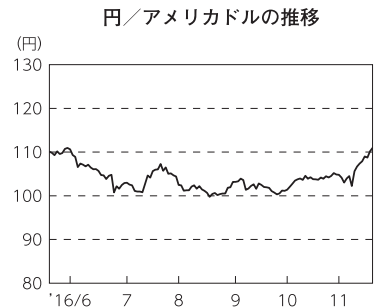
（BDC市況）

米国BDC市況において、S&P BDC 指数は期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2016年8月下旬にかけては、英国のEU離脱懸念を受けた投資家のリスク回避姿勢などがBDC価格の下落要因となったものの、米国連邦準備制度理事会（FRB）が追加利上げに対して慎重な姿勢を継続したことや、市場予想を上回る内容の米国経済指標の発表などを受けて米国経済に対する楽観的な見方が強まったこと、発表されたBDCの決算が概ね堅調な内容であったことなどが支援材料となり、S&P BDC 指数は上昇しました。9月上旬から期間末にかけては、米国長期金利の上昇を受けてBDCの相対的な高利回りに対する魅力が弱まったことなどがBDC価格の下落要因となる一方で、米国における概して良好な内容の経済指標の発表や次期大統領による政策への期待などはBDC価格の下支えとなり、S&P BDC 指数はもみ合いの展開となりました。

（為替市況）

期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「インデックス マザーファンド BDC」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（インデックス マザーファンド BDC）

主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCやBDCに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、15.1%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」の上昇率16.8%を概ね1.8%下回ることとなりました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

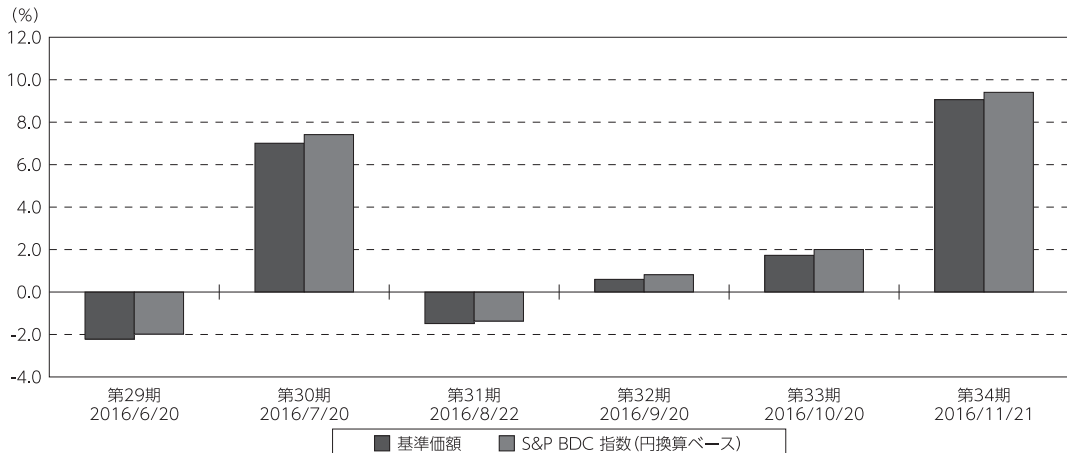
<プラス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。
- ・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
- ・海外カストディ・フィーや売買手数料などの諸費用。
- ・信託報酬等の諸費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) S&P BDC 指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2016年5月21日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月20日	2016年7月21日～ 2016年8月22日	2016年8月23日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月20日	2016年10月21日～ 2016年11月21日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
（対基準価額比率）	0.644%	0.605%	0.618%	0.618%	0.612%	0.564%
当期の収益	50	50	15	50	40	20
当期の収益以外	—	—	34	—	9	29
翌期繰越分配対象額	807	820	786	825	816	787

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「インデックス マザーファンド BDC」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行いません。

（インデックス マザーファンド BDC）

引き続き、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCやBDCに関連する証券に投資する方針です。

また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年5月21日～2016年11月21日)

項 目	第29期～第34期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	33	0.411	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(16)	(0.192)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(16)	(0.192)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.039	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(3)	(0.039)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	20	0.250	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(16)	(0.200)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(4)	(0.047)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	56	0.700	
作成期間の平均基準価額は、8,127円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年5月21日～2016年11月21日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第29期～第34期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
インデックス マザーファンド BDC	千口 10,644	千円 10,228	千口 21,727	千円 20,967

○利害関係人との取引状況等

(2016年5月21日～2016年11月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2016年5月21日～2016年11月21日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2016年5月21日～2016年11月21日)

当作成期首残高 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	当作成期末残高 (元本)	取引理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2016年11月21日現在)

親投資信託残高

銘柄	第28期末	第34期末	
	口数	口数	評価額
インデックス マザーファンド BDC	千口 154,777	千口 143,695	千円 155,248

(注) 親投資信託の2016年11月21日現在の受益権総口数は、143,695千口です。

○投資信託財産の構成

(2016年11月21日現在)

項 目	第34期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インデックス マザーファンド BDC	155,248	98.3
コール・ローン等、その他	2,648	1.7
投資信託財産総額	157,896	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) インデックス マザーファンド BDCにおいて、当作成期末における外貨建純資産（155,098千円）の投資信託財産総額（156,528千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=110.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末
	2016年6月20日現在	2016年7月20日現在	2016年8月22日現在	2016年9月20日現在	2016年10月20日現在	2016年11月21日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	143,364,721	153,778,581	143,611,158	145,425,781	145,277,158	157,896,727
コール・ローン等	1,723,862	1,652,318	2,087,480	2,025,469	1,765,037	1,771,038
インデックスマザーファンドBDC(評価額)	140,828,000	151,160,863	140,684,391	142,534,569	142,672,925	155,248,474
未収入金	812,859	965,400	839,287	865,743	839,196	877,215
(B) 負債	1,112,504	1,130,248	1,492,420	1,522,892	1,167,531	1,149,203
未払収益分配金	921,610	929,726	884,194	895,480	886,989	889,627
未払解約金	10,306	13,995	398,100	419,120	59,072	18,549
未払信託報酬	100,724	95,538	106,610	93,891	95,856	103,296
未払利息	1	1	2	2	1	1
その他未払費用	79,863	90,988	103,514	114,399	125,613	137,730
(C) 純資産総額(A-B)	142,252,217	152,648,333	142,118,738	143,902,889	144,109,627	156,747,524
元本	184,322,179	185,945,225	176,838,882	179,096,193	177,397,817	177,925,597
次期繰越損益金	△ 42,069,962	△ 33,296,892	△ 34,720,144	△ 35,193,304	△ 33,288,190	△ 21,178,073
(D) 受益権総口数	184,322,179口	185,945,225口	176,838,882口	179,096,193口	177,397,817口	177,925,597口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,718円	8,209円	8,037円	8,035円	8,124円	8,810円

(注) 当ファンドの第29期首元本額は183,631,917円、第29～34期中追加設定元本額は16,181,227円、第29～34期中一部解約元本額は21,887,547円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第29期0.7718円、第30期0.8209円、第31期0.8037円、第32期0.8035円、第33期0.8124円、第34期0.8810円です。

(注) 2016年11月21日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は21,178,073円です。

○損益の状況

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2016年5月21日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月20日	2016年7月21日～ 2016年8月22日	2016年8月23日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月20日	2016年10月21日～ 2016年11月21日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 48	△ 33	△ 36	△ 36	△ 31	△ 45
受取利息	2	—	—	—	—	—
支払利息	△ 50	△ 33	△ 36	△ 36	△ 31	△ 45
(B) 有価証券売買損益	△ 3,146,916	10,166,829	△ 1,932,937	951,225	2,554,900	13,173,174
売買益	252	10,174,401	190,222	976,483	2,582,565	13,186,205
売買損	△ 3,147,168	△ 7,572	△ 2,123,159	△ 25,258	△ 27,665	△ 13,031
(C) 信託報酬等	△ 113,145	△ 107,311	△ 119,749	△ 105,461	△ 107,671	△ 116,029
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 3,260,109	10,059,485	△ 2,052,722	845,728	2,447,198	13,057,100
(E) 前期繰越損益金	△27,795,849	△31,882,946	△20,830,030	△23,569,544	△23,257,443	△21,563,224
(F) 追加信託差損益金	△10,092,394	△10,543,705	△10,953,198	△11,574,008	△11,590,956	△11,782,322
(配当等相当額)	(6,054,882)	(6,214,456)	(6,237,974)	(6,488,228)	(6,490,841)	(6,585,599)
(売買損益相当額)	(△16,147,276)	(△16,758,161)	(△17,191,172)	(△18,062,236)	(△18,081,797)	(△18,367,921)
(G) 計 (D+E+F)	△41,148,352	△32,367,166	△33,835,950	△34,297,824	△32,401,201	△20,288,446
(H) 収益分配金	△ 921,610	△ 929,726	△ 884,194	△ 895,480	△ 886,989	△ 889,627
次期繰越損益金 (G+H)	△42,069,962	△33,296,892	△34,720,144	△35,193,304	△33,288,190	△21,178,073
追加信託差損益金	△10,092,394	△10,543,705	△10,953,198	△11,574,008	△11,590,956	△11,782,322
(配当等相当額)	(6,057,322)	(6,221,326)	(6,246,988)	(6,504,156)	(6,493,111)	(6,587,642)
(売買損益相当額)	(△16,149,716)	(△16,765,031)	(△17,200,186)	(△18,078,164)	(△18,084,067)	(△18,369,964)
分配準備積立金	8,823,233	9,039,098	7,664,532	8,286,272	7,995,362	7,428,612
繰越損益金	△40,800,801	△31,792,285	△31,431,478	△31,905,568	△29,692,596	△16,824,363

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年5月21日～2016年11月21日)は以下の通りです。

項 目	2016年5月21日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月20日	2016年7月21日～ 2016年8月22日	2016年8月23日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月20日	2016年10月21日～ 2016年11月21日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,439,049円	1,171,700円	273,635円	1,580,880円	723,026円	372,260円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金増減後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	6,057,322円	6,221,326円	6,246,988円	6,504,156円	6,493,111円	6,587,642円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	8,305,794円	8,797,124円	8,275,091円	7,600,872円	8,159,325円	7,945,979円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	15,802,165円	16,190,150円	14,795,714円	15,685,908円	15,375,462円	14,905,881円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	857円	870円	836円	875円	866円	837円
g. 分配金	921,610円	929,726円	884,194円	895,480円	886,989円	889,627円
h. 分配金(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
1 万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	50円	50円

○お知らせ

約款変更について

2016年5月21日から2016年11月21日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

インデックス マザーファンド BDC

運用報告書

第3期（決算日 2016年11月21日）
（2015年11月21日～2016年11月21日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年2月18日から原則無期限です。
運用方針	主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）やBDCに関連する証券に投資し、BDC市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果を目標として運用を行ないます。
主要運用対象	BDCやBDCに関連する証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCやBDCに関連する証券に投資し、BDC市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果を目標として運用を行ないます。対象指数の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し委託者の判断により決定するものとします。

運用にあたって、対象指数に採用されていないBDCについても、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は投資を行ないます。また、対象指数に採用されているBDCの一部または全部の値動きに連動をめざす上場投資信託証券や債券などに投資する場合があります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		S & P BDC 指数 (円換算ベース)		債組入比率	券率	投資信託 組入比率	純資産額
	期騰落	中率	(ベンチマーク)	期騰落				
(設定日)	円	%			%		%	百万円
2014年2月18日	10,000	—	100.00	—	—	—	—	99
1期(2014年11月20日)	10,897	9.0	111.90	11.9	3.4	91.4		139
2期(2015年11月20日)	10,604	△2.7	110.62	△1.1	6.3	87.9		147
3期(2016年11月21日)	10,804	1.9	114.65	3.6	5.0	90.7		155

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 「S&P BDC 指数」は、米国のBDC市場の動きを表す指数です。ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するBDCを対象に、浮動株調整後の時価総額加重を基本として算出されます。同指数の(円換算ベース)とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2016年11月21日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P BDC 指数 (円換算ベース)		債組入比率	券率	投資信託 組入比率
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落			
(期首)	円	%			%		%
2015年11月20日	10,604	—	110.62	—	6.3	87.9	
11月末	10,861	2.4	113.38	2.5	6.4	87.3	
12月末	10,039	△5.3	104.95	△5.1	4.6	88.9	
2016年1月末	9,305	△12.3	97.34	△12.0	4.8	89.5	
2月末	8,836	△16.7	92.58	△16.3	6.4	86.8	
3月末	9,587	△9.6	100.68	△9.0	8.6	83.4	
4月末	9,688	△8.6	101.88	△7.9	8.3	83.7	
5月末	9,620	△9.3	101.16	△8.6	7.9	83.5	
6月末	9,135	△13.9	96.30	△12.9	8.2	83.6	
7月末	9,734	△8.2	102.81	△7.1	6.9	86.7	
8月末	10,118	△4.6	106.93	△3.3	5.4	89.6	
9月末	9,705	△8.5	102.74	△7.1	4.8	89.9	
10月末	10,029	△5.4	106.32	△3.9	4.9	90.2	
(期末)							
2016年11月21日	10,804	1.9	114.65	3.6	5.0	90.7	

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2015年11月21日～2016年11月21日)

基準価額の推移

期間の初め10,604円の基準価額は、期間末に10,804円となり、騰落率は+1.9%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・中国の市場予想を上回る内容の貿易統計などを背景に世界経済の減速懸念が後退したこと。
- ・市場予想を上回る内容の米国経済指標の発表などを受けて米国経済に対する楽観的な見方が強まったこと。
- ・発表されたBDCの決算が概ね堅調な内容であったこと。

<値下がり要因>

- ・英国の欧州連合（EU）離脱懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・米国長期金利の上昇を受けてBDCの相対的な高利回りに対する魅力が弱まったこと。
- ・円高/アメリカドル安が進行したこと。

(BDC市況)

米国BDC市況において、S&P BDC 指数は期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2016年2月上旬にかけては、原油価格の下落基調の継続がBDCの投融資先企業に与える影響に対して懸念が強まったことや、低格付社債など利回りが相対的に高い金融資産に対する売りが強まる展開となったこと、中国における人民元安・株安の進行を背景に世界経済の減速懸念が強まったことなどから、S&P BDC 指数は下落しました。2月中旬から5月中旬にかけては、主要な産油国による原油の増産凍結への動きなどを受けた原油価格の回復基調や、中国の市場予想を上回る内容の貿易統計などを背景とする世界経済の減速懸念の後退などが支援材料となり、S&P BDC 指数は上昇しました。5月下旬から2016年8月下旬にかけては、英国のEU離脱懸念を受けた投資家のリスク回避姿勢などがBDC価格の下落要因となったものの、米国連邦準備制度理事会（FRB）が追加利上げに対して慎重な姿勢を継続したことや、市場予想を上回る内容の米国経済指標の発表などを受けて米国経済に対する楽観的な見方が強まったこと、発表されたBDCの決算が概ね堅調な内容であったことなどが支援材料となり、S&P BDC 指数は上昇しました。9月上旬から期間末にかけては、米国長期金利の上昇を受けてBDCの相対的な高利回りに対する魅力が弱まったことなどがBDC価格の下落要因となる一方で、米国における概して良好な内容の経済指標の発表や次期大統領による政策への期待などはBDC価格の下支えとなり、S&P BDC 指数はもみ合いの展開となりました。

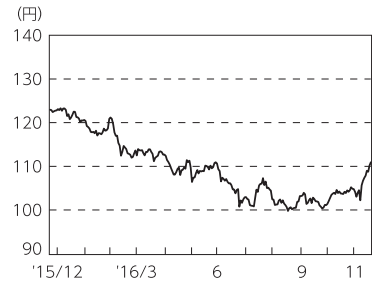
基準価額の推移



(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



ポートフォリオ

主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCやBDCに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、1.9%の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」の上昇率3.6%を概ね1.8%下回ることとなりました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

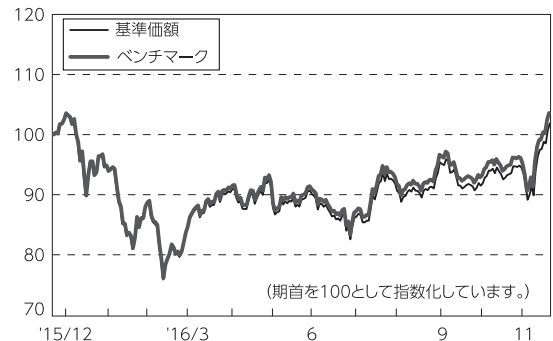
<プラス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。
- ・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
- ・海外カस्टディ・フィーや売買手数料などの諸費用。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○今後の運用方針

引き続き、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCやBDCに関連する証券に投資する方針です。

また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2015年11月21日～2016年11月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	9 (9)	0.089 (0.089)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	40 (39) (0)	0.408 (0.404) (0.004)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	49	0.497	
期中の平均基準価額は、9,721円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年11月21日～2016年11月21日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券(投資法人債券を含む)	千アメリカドル 106	千アメリカドル 122

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
アメリカ	口	千アメリカドル	口	千アメリカドル
ALCENTRA CAPITAL CORP -BDC	77	0.985	—	—
AMERICAN CAPITAL LTD -BDC	1,542	23	1,916	28
AMERICAN CAPITAL SENIOR FLOA -BDC	117	1	—	—
APOLLO INVESTMENT CORP -BDC	1,114	5	468	2
ARES CAPITAL CORP -BDC	1,109	15	371	5
BLACKROCK CAPITAL INVESTMENT-BDC	280	2	—	—
CAPITAL SOUTHWEST CORP -BDC	76	1	—	—
CAPITALA FINANCE CORP -BDC	92	1	—	—
FIDUS INVESTMENT CORP -BDC	225	3	—	—
FIFTH STREET FINANCE CORP -BDC	579	3	1,165	6
FIFTH STREET SENIOR FLOATING -BDC	167	1	—	—
FS INVESTMENT CORP -BDC	1,749	15	446	4
GARRISON CAPITAL INC -BDC	122	1	—	—
GLADSTONE CAPITAL CORP -BDC	121	1	—	—
GLADSTONE INVESTMENT CORP -BDC	149	1	—	—
GOLDMAN SACHS BDC INC -BDC	1,768	35	55	1
GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC	292	4	—	—
GSV CAPITAL CORP -BDC	193	1	—	—
HERCULES CAPITAL INC-BDC	447	5	—	—
HORIZON TECHNOLOGY FINANCE C -BDC	111	1	—	—
KCAP FINANCIAL INC -BDC	256	1	—	—
MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC	385	11	57	1
MEDALLION FINANCIAL CORP -BDC	186	1	—	—
MEDLEY CAPITAL CORP -BDC	231	1	—	—
MONROE CAPITAL CORP -BDC	342	5	—	—
MVC CAPITAL INC -BDC	168	1	—	—
NEW MOUNTAIN FINANCE CORP -BDC	648	8	199	2
NEWTEK BUSINESS SERVICES COR -BDC	115	1	—	—
	(37)	(0.506)	—	—
OHA INVESTMENT CORP -BDC	—	—	947	2
PENNANTPARK FLOATING RATE CA -BDC	101	1	—	—
PENNANTPARK INVESTMENT CORP -BDC	307	1	—	—
PROSPECT CAPITAL CORP -BDC	2,942	19	1,464	11
SOLAR CAPITAL LTD -BDC	387	7	54	1
SOLAR SENIOR CAPITAL LTD -BDC	239	3	—	—
TCP CAPITAL CORP -BDC	433	6	74	1
THL CREDIT INC -BDC	307	2	—	—
TICC CAPITAL CORP -BDC	312	1	287	1
TPG SPECIALTY LENDING INC -BDC	906	15	—	—
TRIANGLE CAPITAL CORP -BDC	530	9	—	—
TRIPLEPOINT VENTURE GROWTH B -BDC	101	1	—	—
WHITEHORSE FINANCE INC -BDC	—	—	311	3
小計	19,226	227	7,814	74
	(37)	(0.506)		

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月21日～2016年11月21日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 8	百万円 8	% 100.0	百万円 8	百万円 8	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○組入資産の明細

(2016年11月21日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 95	千アメリカドル 69	千円 7,698	% 5.0	% —	% 5.0	% —	% —
合 計	95	69	7,698	5.0	—	5.0	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償 還 年 月 日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ 普通社債券(含む投資法人債券) ET2X WELLSFARGO BDCI-ETN	%	千アメリカドル 95	千アメリカドル 69	千円 7,698	2041/5/24
合 計				7,698	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額 千アメリカドル	邦貨換算金額 千円	
(アメリカ)	口	口			%
FS INVESTMENT CORP -BDC	10,106	11,409	114	12,658	8.2
GOLDMAN SACHS BDC INC -BDC	—	1,713	38	4,276	2.8
HERCULES CAPITAL INC-BDC	3,035	3,482	48	5,335	3.4
MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC	1,959	2,287	83	9,264	6.0
MEDLEY CAPITAL CORP -BDC	2,432	2,663	21	2,369	1.5
MVC CAPITAL INC -BDC	824	992	8	917	0.6
NEW MOUNTAIN FINANCE CORP -BDC	2,456	2,905	40	4,496	2.9
STELLUS CAPITAL INVESTMENT C -BDC	558	558	6	707	0.5
TPG SPECIALTY LENDING INC -BDC	1,043	1,949	35	3,976	2.6
TRIANGLE CAPITAL CORP -BDC	1,362	1,892	35	3,954	2.5
TRIPLEPOINT VENTURE GROWTH B -BDC	655	756	9	1,041	0.7
ALCENTRA CAPITAL CORP -BDC	435	512	6	670	0.4
AMERICAN CAPITAL LTD -BDC	7,938	7,564	130	14,468	9.3
AMERICAN CAPITAL SENIOR FLOA -BDC	356	473	5	608	0.4
APOLLO INVESTMENT CORP -BDC	9,898	10,544	63	7,042	4.5
ARES CAPITAL CORP -BDC	7,135	7,873	123	13,714	8.8
BLACKROCK CAPITAL INVESTMENT-BDC	3,086	3,366	24	2,748	1.8
CAPITAL SOUTHWEST CORP -BDC	595	671	9	1,079	0.7
CAPITALA FINANCE CORP -BDC	659	751	9	1,002	0.6
CM FINANCE INC -BDC	451	451	4	472	0.3
FIDUS INVESTMENT CORP -BDC	664	889	14	1,599	1.0
FIFTH STREET FINANCE CORP -BDC	6,373	5,787	32	3,659	2.4
FIFTH STREET SENIOR FLOATING -BDC	1,135	1,302	12	1,331	0.9
GARRISON CAPITAL INC -BDC	638	760	6	770	0.5
GLADSTONE CAPITAL CORP -BDC	912	1,033	8	928	0.6
GLADSTONE INVESTMENT CORP -BDC	1,223	1,372	11	1,242	0.8
GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC	2,143	2,435	45	5,008	3.2
GSV CAPITAL CORP -BDC	813	1,006	5	556	0.4
HORIZON TECHNOLOGY FINANCE C -BDC	369	480	5	573	0.4
KCAP FINANCIAL INC -BDC	1,309	1,565	6	673	0.4
MEDALLION FINANCIAL CORP -BDC	763	949	2	320	0.2
MONROE CAPITAL CORP -BDC	442	784	11	1,293	0.8
NEWTEK BUSINESS SERVICES COR -BDC	413	565	8	945	0.6
OHA INVESTMENT CORP -BDC	947	—	—	—	—
PENNANTPARK FLOATING RATE CA -BDC	1,124	1,225	16	1,819	1.2
PENNANTPARK INVESTMENT CORP -BDC	3,001	3,308	25	2,829	1.8
PROSPECT CAPITAL CORP -BDC	13,785	15,263	121	13,496	8.7
SOLAR CAPITAL LTD -BDC	1,409	1,742	35	3,987	2.6
SOLAR SENIOR CAPITAL LTD -BDC	401	640	10	1,161	0.7
TCP CAPITAL CORP -BDC	2,017	2,376	39	4,402	2.8
THL CREDIT INC -BDC	1,247	1,554	15	1,718	1.1
TICC CAPITAL CORP -BDC	2,408	2,433	14	1,657	1.1
WHITEHORSE FINANCE INC -BDC	311	—	—	—	—
合 計	98,830	110,279	1,268	140,784	
	口 数 < 比 率 >	42	41	< 90.7% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2016年11月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	7,698	4.9
投資証券	140,784	89.9
コール・ローン等、その他	8,046	5.2
投資信託財産総額	156,528	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（155,098千円）の投資信託財産総額（156,528千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=110.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年11月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	157,358,359
コール・ローン等	7,408,307
公社債(評価額)	7,698,598
投資証券(評価額)	140,784,632
未収入金	1,225,126
未収配当金	241,696
(B) 負債	2,113,515
未払金	1,236,299
未払解約金	877,215
未払利息	1
(C) 純資産総額(A-B)	155,244,844
元本	143,695,367
次期繰越損益金	11,549,477
(D) 受益権総口数	143,695,367口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,804円

(注) 当ファンドの期首元本額は138,930,312円、期中追加設定元本額は41,070,030円、期中一部解約元本額は36,304,975円です。

(注) 2016年11月21日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・インデックスファンドBDC (毎月分配型) 143,695,367円

(注) 1口当たり純資産額は1,0804円です。

○損益の状況 (2015年11月21日～2016年11月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	12,760,502
受取配当金	11,248,742
受取利息	1,511,811
支払利息	△ 51
(B) 有価証券売買損益	△ 8,083,031
売買益	12,940,697
売買損	△21,023,728
(C) 保管費用等	△ 594,487
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,082,984
(E) 前期繰越損益金	8,391,413
(F) 追加信託差損益金	△ 2,891,130
(G) 解約差損益金	1,966,210
(H) 計(D+E+F+G)	11,549,477
次期繰越損益金(H)	11,549,477

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2015年11月21日から2016年11月21日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。